

【学校運営協議会資料】

令和3年度 堺東高等学校

第2回 学校運営協議会

ご提言・ご意見のまとめ

令和3年度 堺東高等学校第2回学校運営協議会が、10月29日（金）に開催されました。第2回の協議事項は、「総合的な探究の時間並びにHR等の取組みについて」、「現状報告について」です。当日、各委員のご提言、ご意見の概略を以下のようにまとめました。

協議会委員

- 1 津田 謹輔 (帝塚山学院大学 学長)
- 2 田中 誠二 (堺市立晴美台中学校 校長)
- 3 遠藤 真砂美 (晴美台1丁北自治会)
- 4 森 繁樹 (本校同窓会長)
- 5 藤井 沙耶 (本校PTA会長)
- 6 高谷 翔平 ((株)ベネッセコーポレーション)



協議委員の方々

教職員

校長 教頭 事務長 首席 探究コーディネーター

【次第】

- 1 校長挨拶・現状報告
- 2 1年「総合的な探究の時間」の概要説明と授業見学
- 3 3年授業見学
- 4 2年HR見学
- 5 施設見学、協議

第2回テーマ

「総合的な探究の時間並びにHR等の取組みについて」

「現状報告」

■校長より

本日の協議に入る前に、校長より挨拶に続いて堺東高校の近況報告がありました。

- 10月1・2日には和歌山県でマリン実習を開催しました。10月19日からは3泊4日で、2年生が北海道修学旅行に行きました。一部雨天もありましたが、農業体験やクラス別バスツアーなど、思い出に残る行事となりました。
- 本日は、魅力ある堺東高校となるよういろいろなご意見を伺いたいと思います。



■今年度の学校経営計画における中間報告について質疑応答

□説明 ・ ■意見・質問

◇「今年度の学校経営計画における中間報告について、校長より説明

【 1、確かな学力の育成 】

- スマートスクール推進事業の一環で、校内に無線 LAN が導入され、10月から生徒ひとり一台のノートパソコン（クロムブック）が貸与されています。昨年度から ICT 活用プロジェクトを立ち上げ、教職員に情報発信し、クロムブック活用ための研修を開催し活用と啓発に努めています。
- 令和3年度は、本校創立50周年にあたり周年事業でプロジェクターが各クラス教室に整備されました。映像を活用してわかりやすい授業づくりを進めていきたいと思っています。
- 授業アンケートでの生徒の教材活用満足度は85%を超え、公開授業や生徒による授業アンケートなどを活用して教員の授業力の向上を今後も目指しています。
- 府教育センターから講師を招いて、観点別評価の研修も実施し、11月には研究授業も予定しています。
- 総合的な探究の時間を活用して、SDGs や障がいがある人たちのことなどを取り上げ、生徒同士の意見交換や発表の機会を設け、他者に自分の意見を伝えることができるように指導しています。

【 2、安全で安心な学校づくり 】

- 自立支援生には、「ともに学び、ともに育つ」を目標に指導しています。3年生は就労に向けて、図書館等での体験実習にも参加しています。堺支援学校との交流も20年以上続けており、7月にオンラインによる交流が行われました。生徒が学校紹介を行ったり、質問したりして交流しました。次回は1月に実施の予定です。
- 自転車の乗車マナーの徹底や教員による正門・通用門での指導を行っていますが、歩道の整備が急務となっています。引き続き堺市とも協議します。

【 3、夢にチャレンジする積極的な生徒の育成 】

- 4月から6月の緊急事態宣言の影響で1年生の部活参加が例年より低くなっていますが、学校行事や部活動などを通じて生徒の成長をサポートしたいと考えています。

- 6月21・22日には、競技で手をつなぐ代わりに棒をもつなどの感染対策、待合場所に日よけネットやミストの設置、ペットボトルを全員配布、水分補給の時間を確保するなど暑さ対策を講じて、体育祭を2日間に分けて実施しました。昨年できなかった応援団によるパフォーマンスも開催できました。9月4日には、その前日が感染症による臨時休校となったため、急遽1日に短縮して文化祭を開催しました。すでに8月から感染症による3日間の臨時休校があり、授業確保の観点からやむをえず日程を短縮しました。昨年度はできなかった演劇等ができて生徒は楽しんでいました。

【 4、開かれた学校づくりの推進と情報の発信 】

- 中学生に向けて、11月13日のオープンスクールやミニ見学会を開催し、本校の魅力を伝える予定です。

■探究コーディネーターからの説明と質疑応答

□説明・■意見・質問

【 探究コーディネーター より 】

- 学習指導要領「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」を本校では「夢チャレンジⅠ・Ⅱ」と呼びます。1年次は「多様な価値観を理解する」を主題にパラリンピックスポーツを通して共生社会を考えます。2年次は「社会課題の発見と発信力」を主題にSDGs（17のゴール）を通して時間をじっくりとって考えてゆきます。3年次は「将来の明確なビジョン」をもつことを目標としています。
- 探究的な学び方「自ら動く」の5つの特徴です。
 - ①面白そう（自分の興味関心が出発点）
 - ②なんでやねん（「問い」をたてる）
 - ③調べる（本・人・ネットと出会う）
 - ④課題発見（誰もやったことのないテーマ）
 - ⑤探究・発信（深く考える、自分なりの答え）
- 探究的な学び方「出会い、世界を広げる」の特徴です。
 - 「多様な人との出会い」国際ジャーナリスト、国際NGO、企業社長、まちづくりNPO
 - 「地元との出会い」市役所、支援学校、大学、晴美台自治会、泉ヶ丘ひろば等
 - 「発信する」支援学校との交流会（1年前期、後期）、ワンワールドフェス（2年前期）、マイストーリー全国大会（2年後期）、未来研究発表会（3年前期）
- 今日見学するのは1年後期の探究講座「障がいのある人との共生社会を考える（全13回）」のうち、「(第3回)二人のパラリンピアンについて知ろう」をテーマに、二人の生き方を学び、彼らを取り巻く社会の課題を発見することを目標としています。そのあと、2週間後に実施する「障がい者スポーツ体験」の意義を理解し、主体的に参加できるよう「ボッチャ」・「車いすバスケットボール」の班分けを行います。

【 情報処理委員会より 】

- 生徒が一人一台パソコンを持つ前に、教員にもパソコンを配布し研修を実施しました。

- 授業見学では、ICT（プロジェクター、PC）と紙の併用が印象的でした。生徒の変化は？
- 生徒はYouTubeなどの興味のある分は早く。教員は教材作成など試行錯誤中です。
- ICTによる映写の活用で、板書の時間を減らして、その分考える時間を増やすことができました。授業中の発問や「探究」での役割分担では、積極的に自ら挙手する生徒が増えました。
- 1年生では、積極的に発言する生徒が他の学年より多いように感じますが？。
- 他学年は不明ですが、1年生についてはその傾向がみられます。
- 「探究」の最後にはプレゼンテーションを実施するのですか？。
- まずはグループで話し合い、クラス内で発表します。そのうち、選ばれたクラス代表が学年全体で発表します。そのうち、選ばれた学年代表が外部での発表につながれると思います。やはり、インプットだけでなく、アウトプットが重要です。
- 支援学校との交流会の中身を教えてください。
- 以前から行われているには、7月に40名程度が訪問し一緒に授業やHRに参加する訪問交流、12月に40名程度が来校し一緒にHRに参加する招待交流でした。しかし感染症拡大防止の観点から、昨年より1時間程度のオンライン交流に代わりました。今年度は、本校の食堂や授業・クラブの様子を生徒が作成した動画で紹介し、支援学校生にも大変好評でした。
- 看護棟を見学したが、教科「看護」の科目の選択人数は？。
- 2・3年次併せて最大4科目まで取れます。1科目～4科目まで選択している概算人数は男子の数名やリハビリ系、保育系の希望者含め40名程度です。入試での志望理由書や面接・小論文に授業で学んだことを活用しているようです。
- 外部への「ボランティア」の参加状況は？。
- 「保育園」「子ども食堂」が若干名ですが参加しています。高齢者施設や障がい者施設は、いずれも受け入れや募集はありません。堺学フィールドワークには7名の参加がありました。堺市関係のボランティア参加のきっかけになればと思います。
- 「夢チャレンジ」「探究」は、将来の就職に向けての「自分探し」が主題ですか？。
- いいえ、「自分探し」ではなく、「自分は社会の一員として、社会にどう貢献できるのか」を考える時間です。
- 堺市の中学校では、昨年度に全員にタブレット端末を配布して活用しています。タブレットの保守サポーターが昨年度は週1回、今年度は月に2回来校し、生徒からの相談や教員向けの研修などに対応してくれています。授業でも映像が見れるなど、来年度の高校一年生は、授業中に映像を見るのがあたりまえのように感じていると思われます。
- 教員研修を重ねるなど、本校も必要に応じて活用を進めていきたいと思っています。

今年の日程

【第3回】 令和4年 1月28日（金） 午後3時～5時
を予定しています。よろしくお願いいたします。